

## 「人生のやる気デザイン」研究部会（第8回）

日時：2020年12月14日（月）13：00～15：00

場所：オンライン会議（ZOOMにより開催）

出席：渡辺弥生・榎本淳子・倉住友恵・杉本希映・中谷素之 各兼任研究員

金沢千秋・泉水里香・山口和人

欠席：中井大介兼任研究員・吉久知延所長

内容：（1）榎本研究員報告：日本の成人先天性心疾患患者は他国と比較してなぜ生活に満足していないのか？

- ・ 今回のテーマ：障害を持つ人の「葛藤」→「新たな価値観の形成」を考える  
障害を受容するってどういうこと？
- ・ 先天性心疾患の病の軌跡
- ・ 障害受容の概念
  - a. 価値転換論：価値の転換（上田, 1980）
  - b. ステージ理論：障害の受容の諸段階（上田, 1980）
  - c. 受傷後の心の苦しみ（南雲, 2003）
  - d. 「障害」の3つの側面（中田, 2018）
  - e. 障害受容・障害適応を医療者は今どう位置づけるべきか（先崎, 2020）
- ・ 2人の患者の様相（ケース・スタディ）
- ・ 質疑応答

（2）倉住研究員報告

1. 本日の発表内容：「オリジナル人生ゲームの作成」がどのような影響を大学生に及ぼすのか検討したい
  2. 研究概要「オリジナル人生ゲーム」の作成が大学生の未来展望、将来や人生への“ワクワク”に及ぼす影響を検討すること
  3. 授業実践について
    - オリジナル人生ゲームの作成
    - 授業スケジュール（全15回）
    - 過去受講生の感想
  4. 研究内容の検討
    - 未来展望の次元性について
      - a) 認知的側面 ①時間的志向②拡張性③連続性④密度（or明快さ）⑤方向性
      - b) 情動的側面（肯定的な未来志向、希望）
    - 未来展望とオリジナル人生ゲーム
- ・ 質疑応答

・ 次回研究会は 2021年1月（日時は調整中）。